

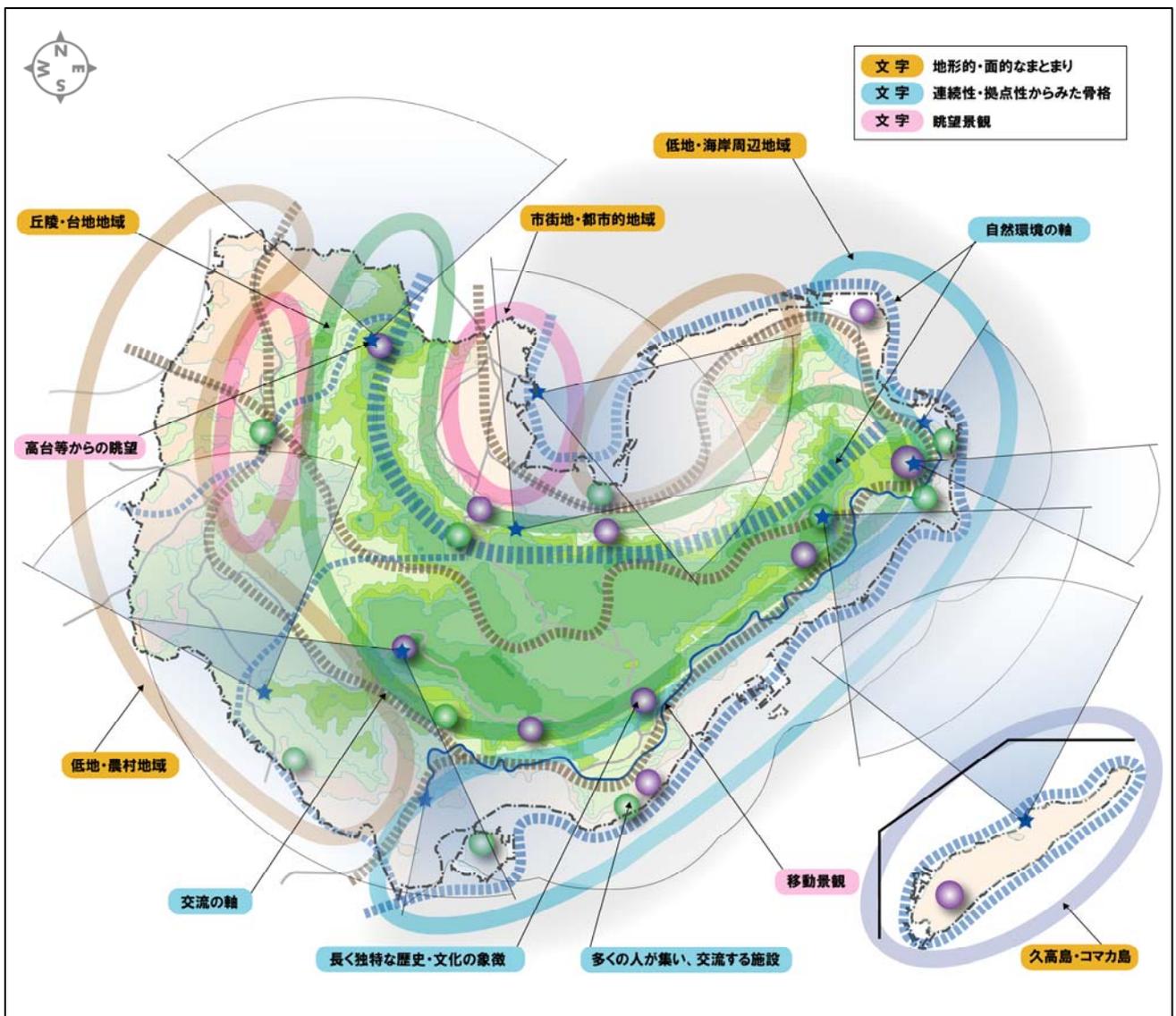
第2章 南城市の景観特性

2-1 現在の景観構造

景観まちづくりの検討に先立ち、まず、本市の現在の景観構造を整理します。

現在の景観構造は、「地形的・面的なまとまり」「連続性・拠点性からみた骨格」「眺望景観」といった3つの要素によって整理を行います。

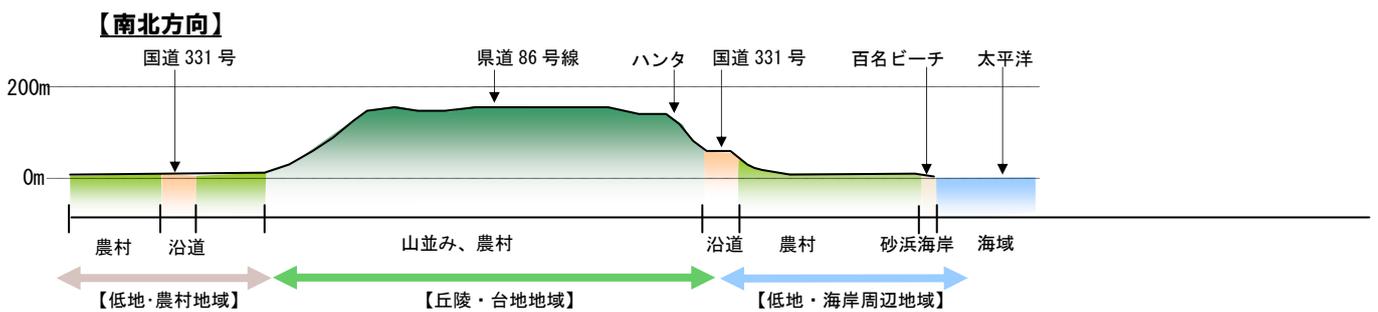
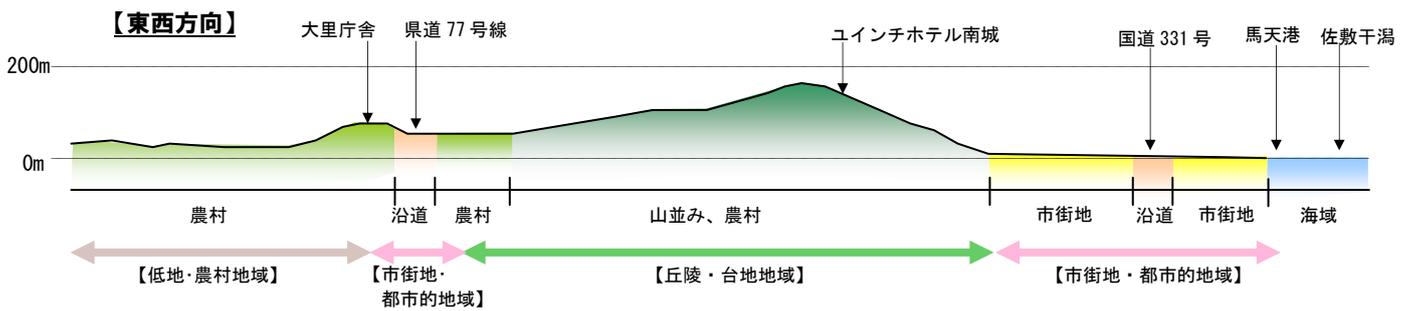
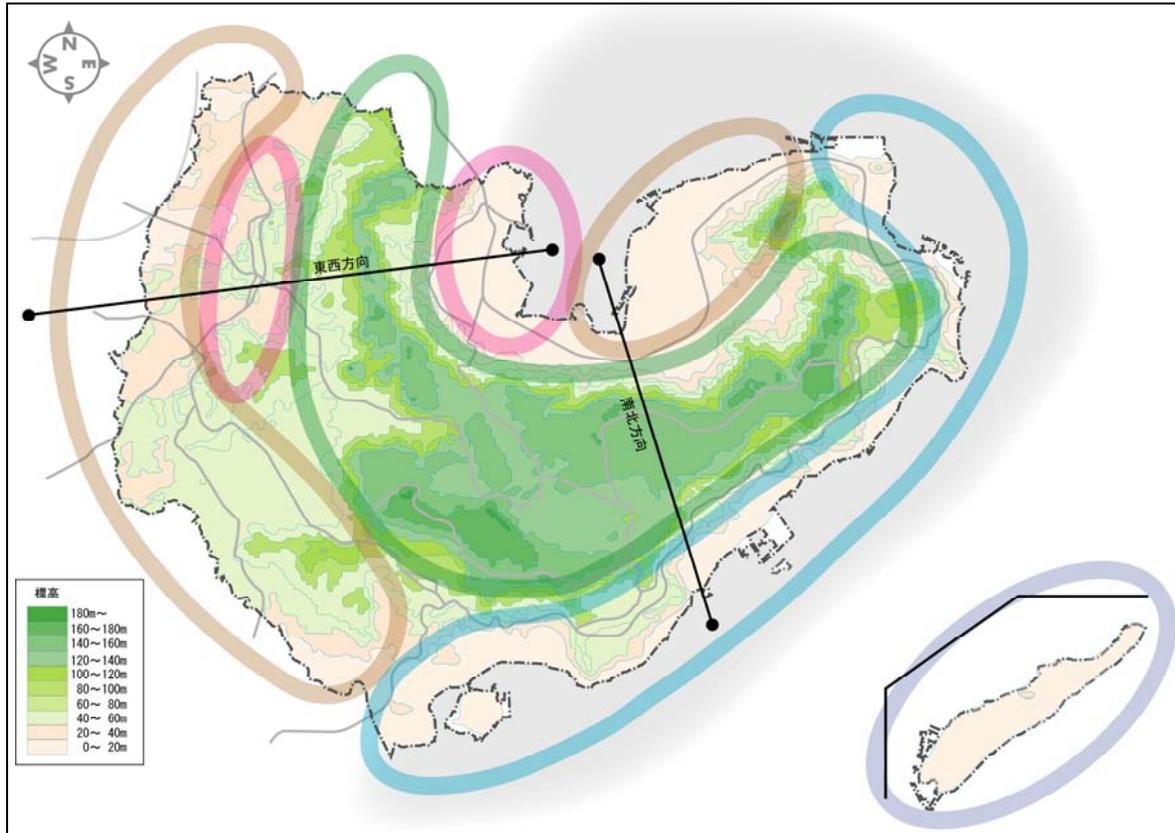
図 現在の景観構造の概要



(1) 地形的・面的なまとまり

地形的・面的なまとまりは、「低地・海岸周辺地域」「久高島・コマカ島」「丘陵・台地地域」「低地・農村地域」「市街地・都市的地域」の5区分で捉えています。

図 「地形的・面的なまとまり」に関する景観要素の捉え方



「低地・海岸周辺地域」

奥武漁港をはじめとした中小の漁港が点在しており、これらの周辺では、漁業を生業とした集落がみられます。

また、これらの後背地では、緩やかな傾斜地が広がり、農業の営みも盛んで、のどかな農村景観がみられるほか、美しい海を目前にするなかで、ホテルやカフェ等が点在し、観光リゾート地としての雰囲気も感じられます。



志喜屋漁港と、緩やかな傾斜地に広がる県内有数のクレソン生産地（志喜屋地区・山里地区・垣花地区）

「久高島・コマカ島」

久高島やコマカ島は、リーフで囲まれ、亜熱帯の豊かな森林が覆う美しい島となっています。

久高島については、琉球民族発祥の地として多くの人の崇敬を集めており、観光開発もほとんど行われておらず、島全体が神秘的な雰囲気に包まれています。



本島・知念地域の沖合約5kmに浮かぶ久高島

「丘陵・台地地域」

標高150m程度のなだらかな丘陵・台地が広がっており、海沿いではハンタが連なって急斜面が形成されています。

斜面地は全体的に森林に覆われており、平坦地形が広がる地域においても、土地改良された広大なサトウキビ畑や、風力発電の風車等があって、のどかな農村景観を形成しています。



台地に広がるサトウキビ畑（糸数地区）

「低地・農村地域」

平坦地形が広がるこの地域は、良好な農業地帯として発展してきた経緯があります。

近年は、都市化の様相もありますが、沖縄本島南部の原風景ともいえるサトウキビ畑が至るところで見渡せる状況にあり、集落や背景の緑豊かな丘陵地とも相まって、のどかな農村景観を形成しています。



サトウキビ畑やハウス栽培の農地が広がるなかで点在する集落（船越地区）

「市街地・都市的地域」

国道 331 号や県道 77 号線の沿道を中心としたこの地域は、平坦地形にあり、那覇市や沖縄自動車道に近接することもあるため、市内でも特に市街化が進んでいます。

海の埋立て等による住宅開発も進められ、全体として、整然とした街並みの落ち着いた雰囲気にも包まれています。沿道の商業施設や、街なかの公園等では多くの人が集い、賑わいの景観をみることができます。



商業施設が建ち並ぶ県道 77 号線沿道（稲嶺地区）

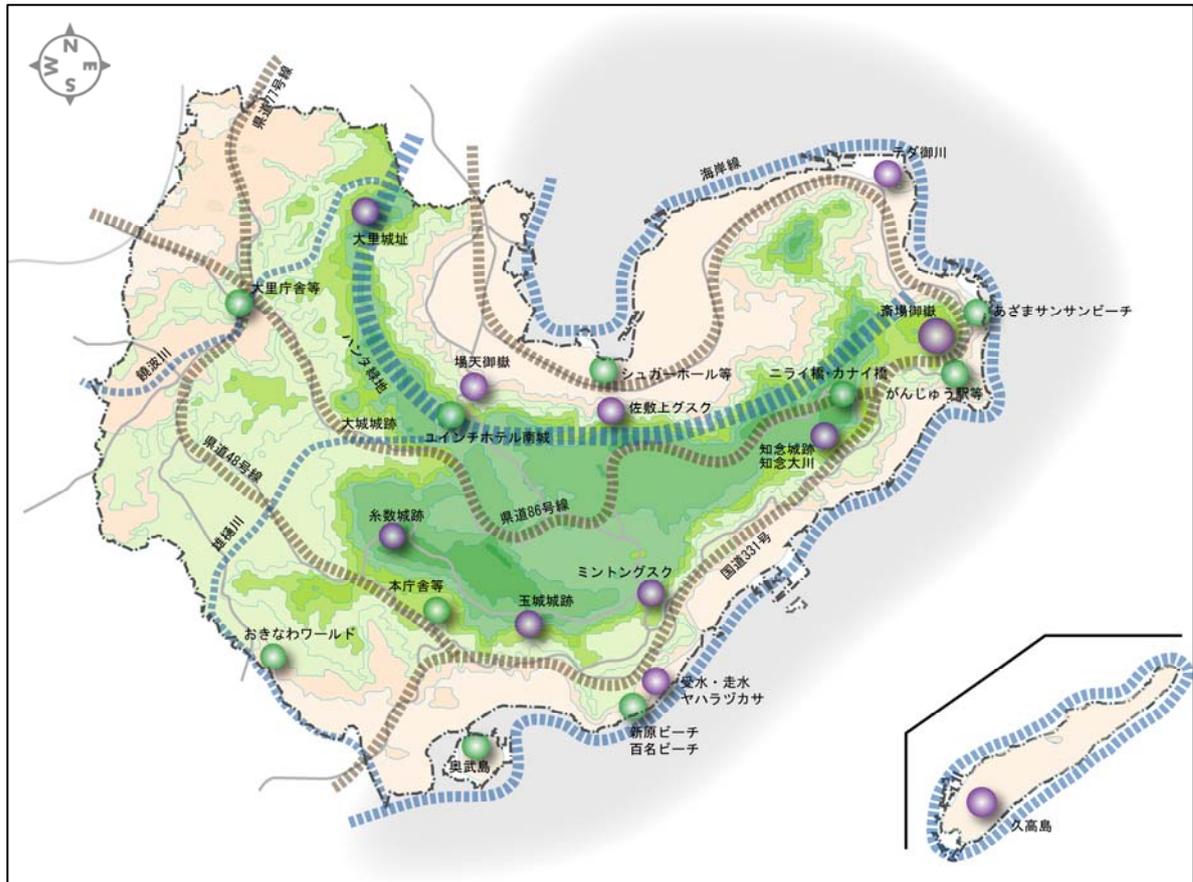


埋立て地で整備された住宅地（新開地区）

(2) 連続性・拠点性からみた骨格

連続性・拠点性からみた骨格は、「交流の軸」「自然環境の軸」「長く独特な歴史・文化の象徴」「多くの人が集い、交流する施設」の4区分で捉えています。

図 「連続性・拠点性からみた骨格」に関する景観要素の捉え方



※景観資源等は例示であり、すべてを網羅したものではない

■■■■■■■■■■ 「交流の軸」

市内外多くの人が利用する幹線道路としては、市内を環状方向に連絡する国道 331 号や県道 48 号線・77 号線、横断方向に連絡する県道 86 号線等が挙げられます。

それぞれ、沿道での緑化がみられ、国道 331 号のようにヤシ並木通りを整備し、観光リゾートの景観を演出している道路もあります。



国道 331 号沿道の南国情緒あふれるヤシ並木 (佐敷地区)

■■■■■■■■■■ 「自然環境の軸」

市内各地で、丘陵地等の小高い山地形がみられますが、市域東部の海岸周辺から北西部にかけて連なるそれは特徴的です。

明確に山と認識できる標高差と豊かな緑を有し、また、稜線も比較的保たれており、自然の美しさ、スケールの大きさを感じさせます。



森林が広がり、稜線も保たれている丘陵地・ハンタ



白い砂浜、波の侵食でできた石灰岩の岩場など、自然のままの姿が残る海岸（百名地区）

海岸部では、自然豊かで変化のある海岸線が連なっています。海域では、珊瑚礁が広がっており、沿岸海域のイノーについては、太陽の光により海の色を刻々と変化させ、美しい景観を創出しています。

河川に関しては、雄樋川や饒波川のように、緩やかな勾配で、周辺の緑と相まって、穏やかな景観を形成している河川があります。



浄化活動も進められている雄樋川



「長く独特な歴史・文化の象徴」

本市は、東御廻りと呼ばれる聖地巡拝の地として知られており、市内には、11の関連御嶽が残っています。特筆すべきは、最高位の御嶽である斎場御嶽であり、丘陵地の深い緑のなかであって、神秘的な雰囲気漂っています。

そのほか、糸数城跡をはじめとしたグスクも有名です。丘陵地の天然の地形を取り入れた見事な城跡は、聖域としての説もあり、地域の象徴になっています。



世界遺産に登録（平成12年）され、多くの観光客が訪れるようになった斎場御嶽



「多くの人が集い、交流する施設」

多くの人が集い、交流する施設の多くは、地域の景観を牽引しています。

例えば、行政施設は、大規模なものが多く、また、モダンな建築様式もみられ、地域のランドマークになっている場合があります。

また、本市では、高い集客力を誇るおきなわワールドをはじめ、ビーチ、ホテルなど観光関連施設が多く位置しています。これらは、伝統的な建築様式や、美しい人工の白浜など、沖縄らしさを演出しているものもあり、周辺を含め、観光客で賑う景観がみられます。

そのほか、ニライ橋・カナイ橋のように、美しい自然景観のなかで存在感を増し、名所となっているものもあります。



沖縄建築50選にも選ばれたシュガーホール

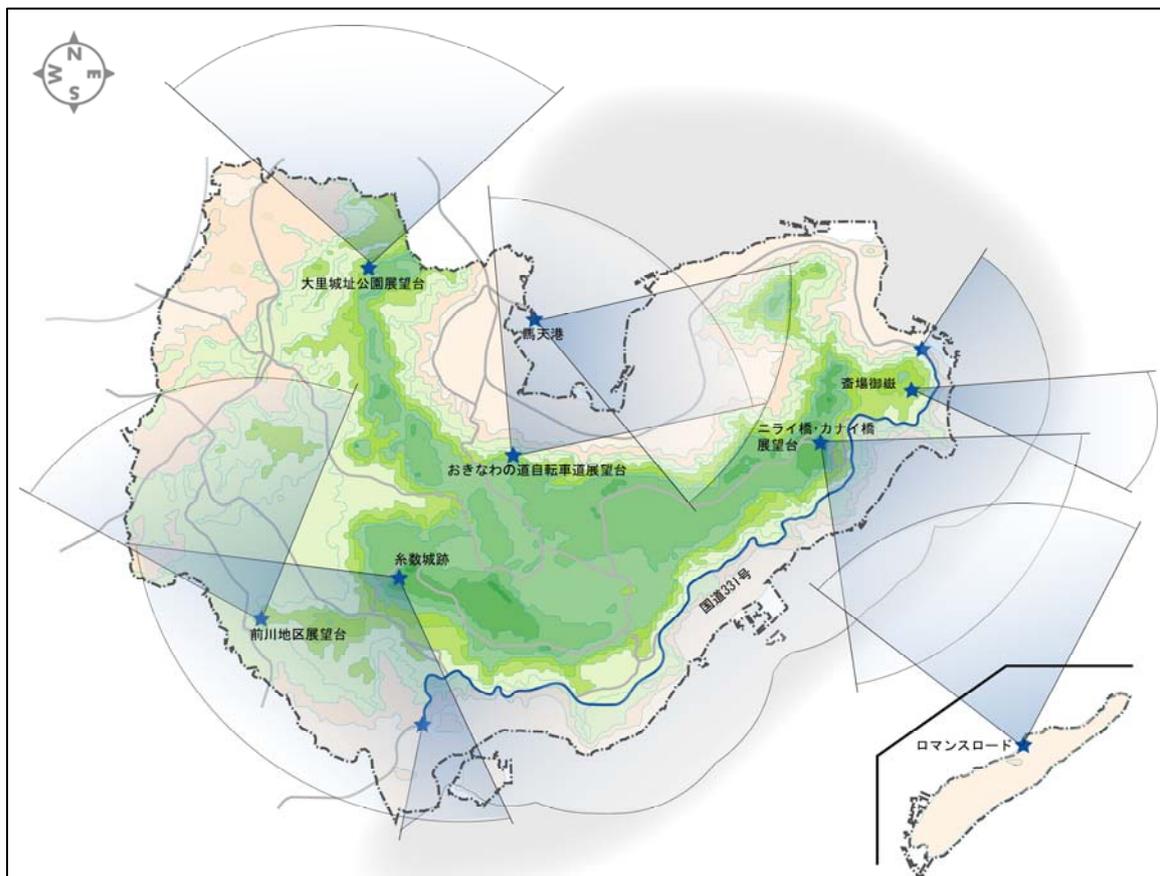


美しい自然景観が広がる岬に立地する建築物（久手堅地区）

(3) 眺望景観

眺望景観は、「移動景観」「高台等からの眺望」の2区分で捉えています。

図 「眺望景観」に関する景観要素の捉え方



※視点場およびそこから眺望範囲は例示であり、すべてを網羅したものではない

★————★ 「移動景観」

知念半島の海沿いには国道 331 号が通っています。市域南部から東部にかけては、比較的標高が高い場所を通っており、美しい海を眺望できる区間が多くあります。また、緩やかなアップダウンや、カーブが連続するなかで、変化のある景観をみることもできます。

なお、その沿道・周辺では、カフェが点在しており、ゆっくり休憩しながら景観を楽しめるドライブコースとして、県民・観光客に人気があります。



イノーの美しい海に浮かぶ奥武島

★「高台等からの眺望」

本市は、その特徴的な地形・自然条件により、各地で良好な眺望が得られます。

特筆すべきは、高台からの美しい海への眺望であり、その景観は、多くの人に感動を与えています。なお、沖縄には、古代よりニライカナイ信仰（海の彼方の神々が住む場所への憧れ）があり、神々の島とされる久高島など、海への眺望は、信仰を大切にする人々にとって今も特別なものとなっています。

そのほかにも、本島内では、佐敷の市街地を望む高台や、市西部に広がる農業地帯を望む高台、知念半島・ハンタ緑地を望む港など、様々な方向、様々な表情の眺望に恵まれています。

さらに、三方を海に囲まれるという特性から、久高島や航路など、海からの本島の眺望も素晴らしいものがあります。なお、前述した東御廻りの原型は、航路であったことが推測されているため、本市における海からの景観は、歴史のストーリー性も感じさせます。



離島を含む太平洋のパノラマを一望できるニライ橋・カナイ橋



海と市街地の両方の眺望を楽しめる佐敷の高台（おきなわの道自転車道展望台）



本島南部最大の規模を誇る糸数城跡。グスクは、丘陵地頂上付近に作られたものが多く、良好な眺望が得られる

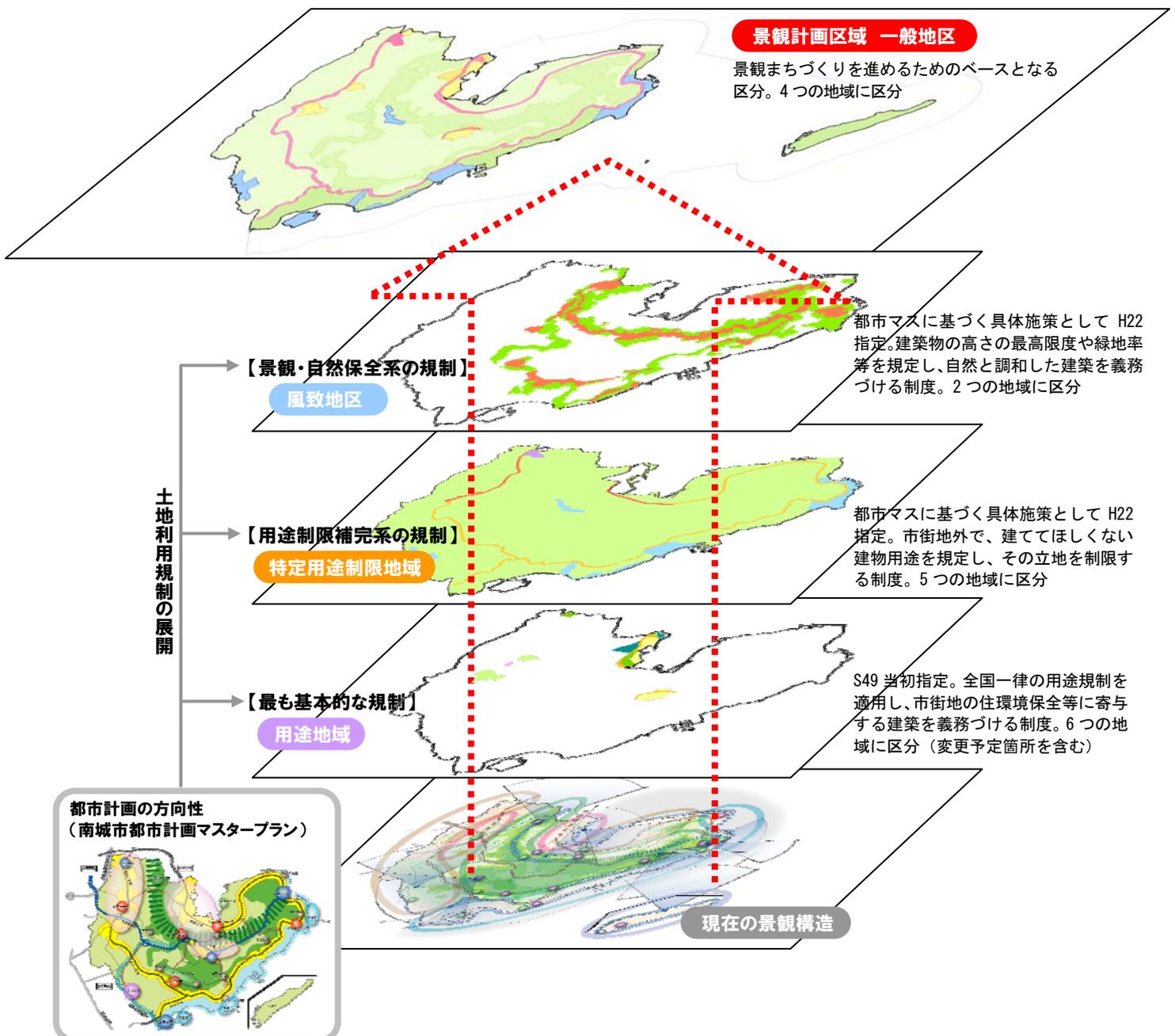
2-2 景観の地域区分

(1) 一般地区

本計画では、景観計画区域を幾つかの地域に区分し、地域毎に景観形成基準等を設定することで、良好な景観の実現を目指します。

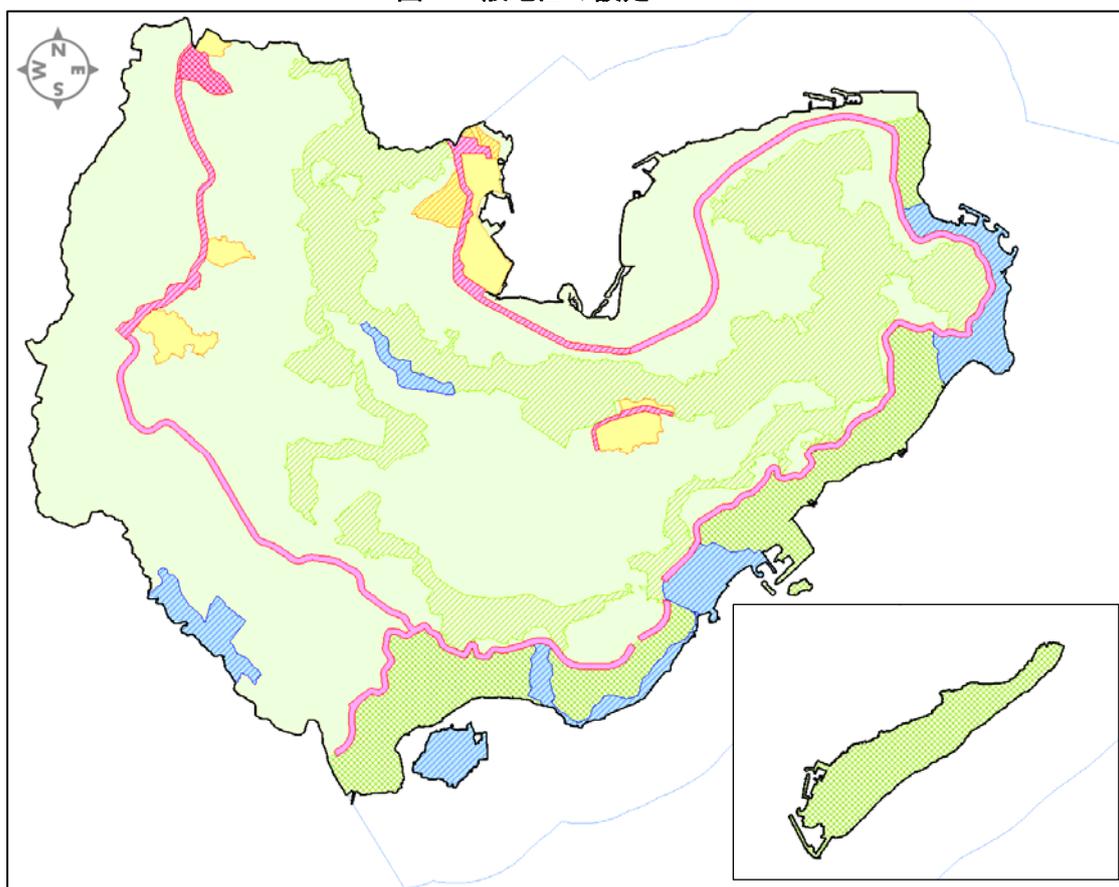
地域区分の考え方としては、前述した現在の景観構造を踏まえるとともに、景観の取り組みはまちづくりの一環として進めることが重要である、との認識から、都市計画の取り組み（土地利用規制）との整合性を重視します。

図 地域区分の考え方（一般地区）



一般地区については、「住居系地域」、「沿道・業務系地域」、「観光・リゾート系地域」および「自然・農業系地域」の4つを設定します。

図 一般地区の設定



地区区分	対応する都市計画法上の土地利用規制等	
■住居系地域		
	低層住宅地区	用途地域（第1種低層住居専用地域）
	中低層住宅地区	用途地域（第1種・第2種中高層住居専用地域、第1種住居地域）
■沿道・業務系地域		
	市街地沿道地区	用途地域（近隣商業地域、第2種住居地域）、特定用途制限地域（幹線道路沿道地区市街地型）
	農村沿道地区	特定用途制限地域（幹線道路沿道地区農村型）
	工業地区	特定用途制限地域（産業環境地区）
■観光・リゾート系地域		
	-	特定用途制限地域（リゾート環境地区）、奥武島
■自然・農業系地域		
	海岸周辺地区	特定用途制限地域（居住環境保全地区。ただし、国道331号と海岸線に挟まれた範囲内とし、知名城原（小字）を北端とする）、久高島その他離島
	ハンタ緑地地区	風致地区（第1種・第4種風致地区。ただし、「海岸周辺地区」と「観光・リゾート系地域」の範囲は除く）
	農地・集落地区	特定用途制限地域（居住環境保全地区。ただし、「海岸周辺地区」と「ハンタ緑地地区」の範囲を除く）
	海洋地区	景観計画区域の海洋部

注：地区界は、用途地域等の都市計画の境界と整合・連動
：用途地域については、変更予定箇所を含む

(2) 景観まちづくり重点地区

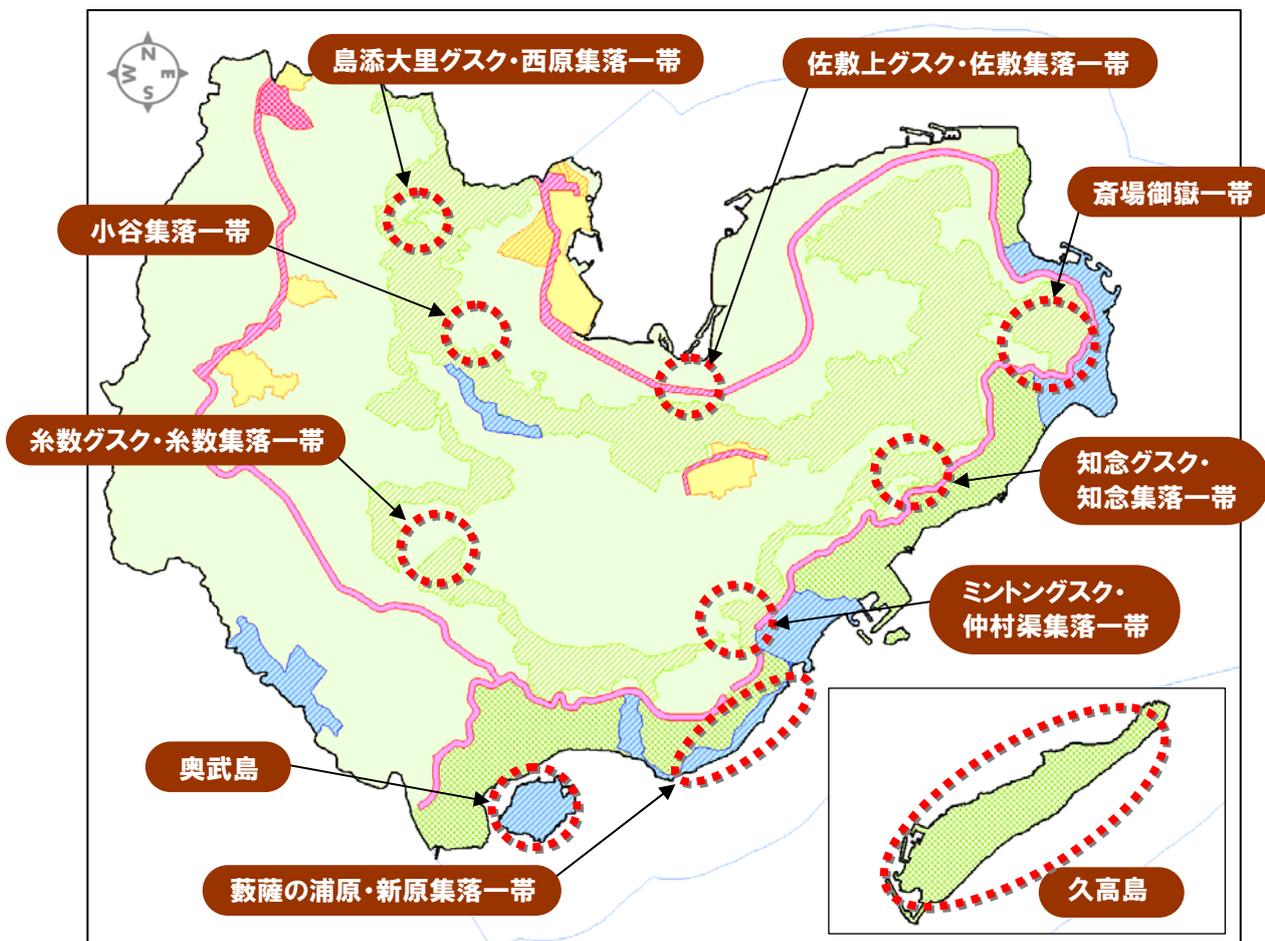
一般地区のなかでも、特に、良好な景観形成を推進すべき地区については、『景観まちづくり重点地区（以降、「重点地区」という。）』として設定し、景観まちづくりを重点化します。

重点地区は、本市が目指す景観像（P38）の実現に寄与することを中心に考えながら、下表条件を多く満たす地区を位置づけます。

表 重点地区の候補地選定条件

区分	選定条件
景観の質	<ul style="list-style-type: none"> ● 貴重な歴史・文化的資源や自然資源が集積する地区 ● 優れた視点場（眺望スポット）のある地区 ● 地域の生活や生業の理解のため欠くことのできない景観がある地区
市民等の意識	<ul style="list-style-type: none"> ● 多くの市民等に注目され、親しまれている地区 ● 地域住民等による能動的な景観まちづくりの取組みがある地区
まちづくり上の役割	<ul style="list-style-type: none"> ● 都市計画マスタープラン等のまちづくりに係る上位・関連計画において、重点的な位置づけがなされている地区 ● モデル的に景観まちづくりを展開することで、他地区を先導し、集客・交流等にも大きな役割を果たすことが期待できる地区

図 重点地区の候補地（適宜追加。景観条例に基づく手続きを経て順次指定）



2-3 景観の特性と課題

(1) 市全体の景観の特性と課題

市全体の景観の特性と課題は、「自然景観」「伝統的景観」「人と暮らしの景観」の3つの要素で捉えるものとします。

① 自然景観

自然景観は、本市ならではの地形・自然条件が育んできた要素です。

特筆すべきは、美しい海やハンタの緑ですが、地域の暮らしに根付いた自然・樹木等も景観の魅力を支えています。

■ 珊瑚礁の美しい海

本市を囲む海は、自然のままの珊瑚礁を残す貴重な存在で、景観的にも優れています。特に、奥武島から久高島にかけて広がるイノーは、波静かで、太陽の光で色を変化させるなど、美しい景観を創出しています。また、部分的には干潟もあり、渡り鳥など、生態系の豊かさを感じさせる景観がみられます。



エメラルドグリーンของイノーとコバルトブルーの外海



久高島の変化に富んだ海岸線

■ 自然豊かで変化のある海岸線

市内では自然海岸が連なっており、珊瑚の破片からなる白い砂浜の海岸線や、琉球石灰岩の隆起・浸食により形成された海崖、突出した岬からなる凹凸のある海岸線など、変化に富んだまちの輪郭を形成しています。一部では、ハマジンチヨウ群落など、貴重な植生もみられます。

■ まちの背景を縁取るハンタ・丘陵地の緑

低平とされる沖縄本島中南部に属しながらも、本市の地形は、琉球石灰岩の地層特性が強く現れ、高低差の大きさを感じさせます。丘陵地や、ハンタが連なる急斜面は、豊かな森林に覆われており、まちの背景として、本市の景観全体を引き締めています。



丘陵地を覆う常緑の森林

■湧水が作る特徴的な景観

本市は、琉球石灰岩の地層に広く覆われており、その特性上、地下水脈が発達し、湧水が数多く分布しています。湧水は、地域の暮らしや植生・生態と密接に関係しており、各地で、生活用水の一部として湧水を使用する暮らしの景観や親水の景観、周辺の緑と一体となった特徴的な自然景観がみられます。



日本名水百選に選定された垣花樋川

集落背後の森
(クサティムイ)



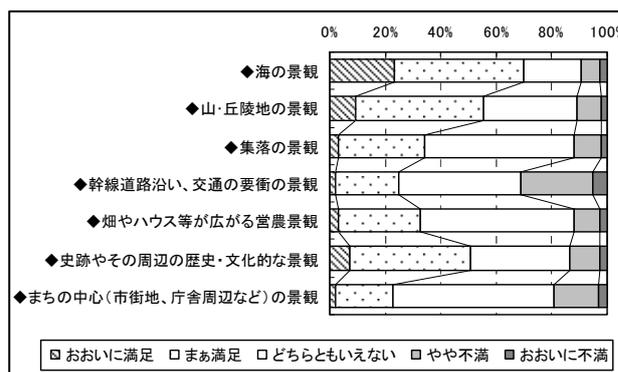
知念親川のフクギ群

■地域の風土を表す特徴的な自然・樹木

地域には、風水思想と思われる空間構成が残っています。クサティムイ（腰当森）もその一つであり、集落背後に位置するその森は、防風や水源、精神的な安らぎを享受してきたといえます。また、市内では、その亜熱帯の気候からガジュマル、フクギ等の特徴的な樹木が多く、集落の独特な景観を創り出し、また、祭祀の象徴として大切にされているものもあります。その他、ヤンバル山のように、本島北部で見られるような植生・景観を持つ自然もあります。

■自然景観に対する市民の高い満足度

市民アンケート調査結果によると、自然景観に対する市民の満足度は、その他の景観要素に比べ非常に高くなっています。観光客についても、海の景観に対する印象が最も良いとしており、また、企業としても、その活動上、海の景観が最も魅力を感じると答えています（別調査の結果）。



H21 市民アンケート調査結果（市の景観に対する満足度）

自然景観は、本市の景観の素地を成す重要な要素です。

そのため、自然環境はできる限りそのままの姿で継承していくことが大切ですし、南城らしい景観まちづくりとして、人々の生活・経済活動と調和を図り、自然に馴染む建築等の工夫を行うことが必要です。こうしたことは、高台等からの美しい眺望景観の価値を守り、高める上でも重要です。

②伝統的景観

伝統的景観は、地域の歴史・文化によって培われた要素です。

特筆すべきは、世界遺産等が醸し出す風格ですが、長い歴史のなかで培われてきた住まい方や生業、行事など、現代に生きる景観もその魅力を支えています。

■「沖縄の歴史・文化・信仰の原点」としての風格

本市は、琉球民族発祥の地として、また、東御廻りの地として知られるとおり、沖縄屈指の歴史のまちです。市内には、斎場御嶽に代表される7つの国指定文化財や、9つの県指定文化財など、貴重な歴史・文化的資源が数多くあり、豊かな自然と相まって、あらゆる場所で神秘的な雰囲気漂っています。



沖縄最古のグスクとされる玉城城跡



小谷地区の集落で残っている石畳道

■旧来の土木・建築技術を用いた構造物

沖縄では、中国や本土の土木・建築技術の影響を受けた、独特の景観を持つ構造物が各地で見られます。市内でも、グスクの城壁や御嶽、拝所、井泉、石畳道など、その時代の石造・石積の文化が反映されたものが残っています。また、木造・赤瓦屋根による伝統的な様式の建築物も一部で見られます。

■暮らしの知恵や、信仰が生きる集落空間

集落は、カーやヒージャーと呼ばれる井泉を中心に形成されてきた歴史があり、今も、古い集落には井泉が残っています。また、集落のなかには、クサティムイを背に、南向きの斜面に立地し、屋敷林や石垣を備えたものもあります。これらは、厳しい自然条件のなかで培われた暮らしの知恵を表し、また、水への信仰を今に伝える貴重な空間となっています。



現在も農業用水として使用され、多くの人が巡拝する仲村渠樋川

■伝統文化としての生業の景観

市内では、各地にサトウキビ畑が広がっています。沖縄農業として確立したのは戦後ですが、古くは、琉球王朝時代の重要作物であり、また、ユイマールで支えられてきたもので、沖縄の原風景、伝統文化を今に伝える要素といえます。一方、海沿いでは、海との関わりのなかで育まれてきた沖縄ならではの景観がみられます。例えば、サバニ（伝統的な小舟）や、様々な魚を干す様子であり、特に、奥武島は、伝統的な海人の島としての雰囲気の色濃く残しています。

子ども達によるサトウキビ収穫の様子



トビイチャー（飛びイカ）を干す様子



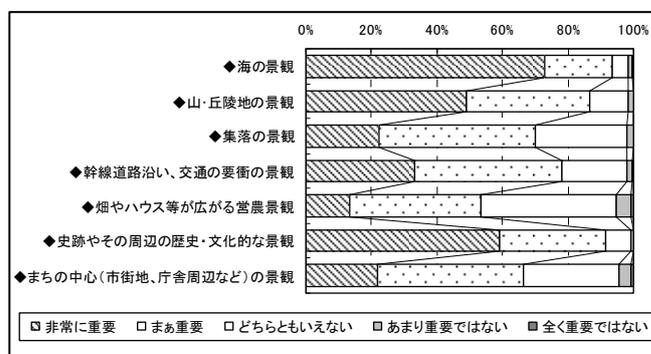
各地域のハーリー

■独特の生活色を醸し出す伝統行事

市内では、一年を通じて様々な伝統行事が行われています。例えば、海人が漁の安全と豊漁を祈願し爬竜船で競い合う「ハーリー（旧暦5月4日）」や、五穀豊穡・子孫繁栄を願い、綱を引き合う「旧盆綱引き（同7月15日）」、現世に戻ってくる先祖の霊を送り出すために踊る「エイサー（同7月16日）」です。これらは暮らしに密着した風物詩として、地域の景観を彩っています。

■歴史・文化的な景観に対する市民の大きな期待

市民アンケート調査結果によると、市民の多くが歴史・文化的な景観に満足しています。観光客も、本市の歴史・文化の趣に良い印象を持っているようです（別調査の結果）。今後の景観まちづくりにおいても、自然景観と肩を並べて重要な要素である、として市民から大きな期待が寄せられています。



H21 市民アンケート調査結果（今後の景観まちづくりにおける重要性）

伝統的景観は、本市の歴史・文化の豊かさを表す重要な要素です。

その大切な景観が失われつつある現代では、市民もその価値を認識し、一緒に守っていくことが大切です。また、南城らしい景観まちづくりとして、伝統的な要素を現代建築等にうまく活かす工夫も考える必要があります。

③人と暮らしの景観

人と暮らしの景観は、現代の住環境・生活様式のなかで培われた要素です。

市内では、コンクリートやリゾートの景観をはじめ、地域らしさや、生き生きとした暮らしの息吹等を感じる景観がみられます。

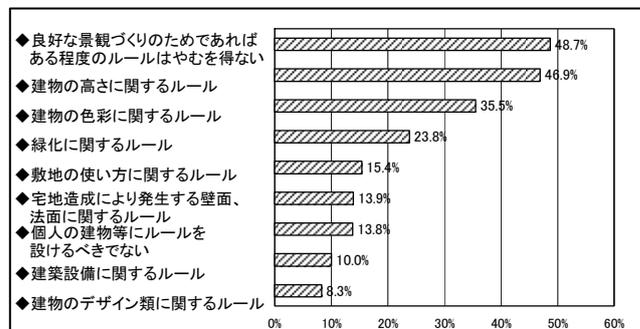
■沖縄の自然条件に由来した建築物や、多様な建築物

市内の建築物は、厳しい自然条件に對峙したコンクリート造・陸屋根が大半です。一方で、建築様式は多様化しており、景観に配慮して勾配屋根・赤瓦を取り入れたり、逆に、風土とは異なる個人好みで、主張性の高い表現も一部で見られます。また、市内の建築物は、低層・戸建てが基調ですが、近年、周囲から突出した中高層・大規模なものも見られるようになってきました。

なお、市民アンケート調査結果によると、市民は、建築物の景観に対して一定の秩序を求めています。



コンクリート造・陸屋根が多い住宅地



H21 市民アンケート調査結果（景観まちづくりのために必要なルール）

■地域の景観を牽引する公共事業の伸展

これまで進めてきた市街地整備や、道路その他の公共施設整備は、地域の利便性向上だけでなく、整然とした街並み、緑のある街なか、眺望を楽しめる場など、様々な景観を創出しています。今後も、南部東道路など、大規模な公共事業が予定されており、景観面での貢献、配慮が期待されるところです。



南部東道路（地域高規格道路）の整備イメージ

■多くの人が訪れ、賑わう産業の景観

沖縄を訪れる観光客の5割は本島北部に立ち寄りと言われていたますが、市内でも、ホテルやビーチ、ゴルフ場が多く、また、集客力の高いおきなわワールドもあって、沖縄を代表する観光地となっています。近年は、眺望を楽しむカフェの立地も進んでおり、地元客にも親しまれ賑わっています。一方、商工業については、現時点で集積度は高くありません。しかし、都市計画の見直しや幹線道路の整備など、産業環境が整いつつあるなかで、活力と賑わいの景観が充実することへの期待が高まっています。



快適に過ごせる設備が整ったあざまサンサンビーチ



開発の自由度を高める取り組みとして、市民の関心・期待を集めた都市計画の見直し（住民説明会の様子）

■良好な景観を創出している市民活動

市内では、オープンガーデン（良好な景観を持つ個人の庭の一般開放）や、遊休地での花いっぱい運動、植樹祭など、市民主体で美化を楽しみながら交流する取り組みがみられます。また、各アンケート調査結果でも、市民や企業の多くが、今後の景観に関する活動への参加について、積極性を持っています。

オープンガーデンの様子



市民が植栽した1,000坪のひまわり畑

人と暮らしの景観は、新しい本市らしさを創出する上での大切な要素です。

生活・経済活動と、自然景観・伝統的景観との調和はもちろん大切ですし、南城らしい景観まちづくりとして、市民等が積極的に参加し、協働して取り組むことが必要です。

(2) 地域別の景観の特性と課題

地域別の景観の特性と課題は、前述した地域区分それぞれで捉えるものとします。

①一般地区

■住居系地域

【重点を置くべき誘導項目】

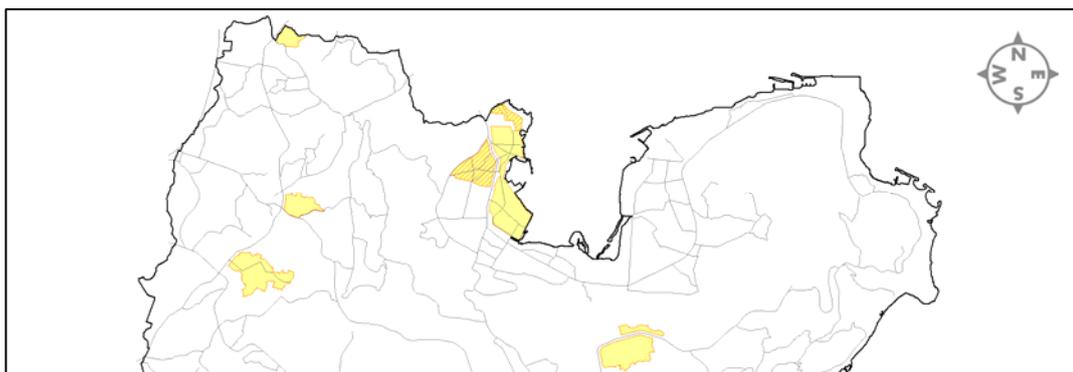
規模・高さ

色彩・素材

形態意匠

緑化

地区区分	対応する都市計画法上の土地利用規制 等
 低層住宅地区	用途地域（第1種低層住居専用地域）
 中低層住宅地区	用途地域（第1種・第2種中高層住居専用地域、第1種住居地域）



●低層・戸建ての住宅地景観が基調となっています

建築物は、低層・戸建て住宅が基調で、落ち着いた雰囲気は漂っています。しかし、景観にとって大切な敷地の際（きわ）部分に余裕の無い地区や、用途規制が緩いため、低層と中高層の住宅、または住宅と商業施設等が隣り合ってしまう可能性のある地区があります。このような地区では、景観的な不調和や住環境の悪化を招くことが無いよう、周囲への十分な気遣いのある景観づくりが必要です。



第一種低層住居専用地域に指定され、低層・戸建てが大半となっている住宅地（津波古地区）

●建築設備等が乱雑な印象を与えています

建築物の大半は住宅ですが、住宅のタイプは様々です。また、貯水タンク等の建築設備を屋上に設置している住宅が多く、違和感のある色使いの住宅も散見でき、これらは街並みに乱雑な印象を与えがちです。市街地の景観は、主に人工物で構成されるだけに、秩序や協調を考えることが必要で



丘陵斜面に位置し、眺望されやすい大里グリーンタウン

すし、特に、大里グリーンタウンなど、眺望されやすい住宅地では、整然さや、まとまりのある景観づくりが重要です。

●緑に縁取られながら、住宅地が広がっています

市街地は、丘陵地や農地の緑に縁取られており、自然を身近に感じながら暮らすことができます。一方で、その境界部では少しづつ緑が失われており、また、街なかでは一般的に緑が不足し、無味乾燥な景観になりがちです。そのため、市街化の進展に伴う自然の喪失には配慮が必要ですし、住宅地では、敷地内緑化を積極化し、景観の向上を目指すことが重要です。



緑豊かなハンタ・丘陵地を背景とし、周囲に農地が広がる住宅地（津波古地区・新開地区）

■沿道・業務系地域

【重点を置くべき誘導項目】

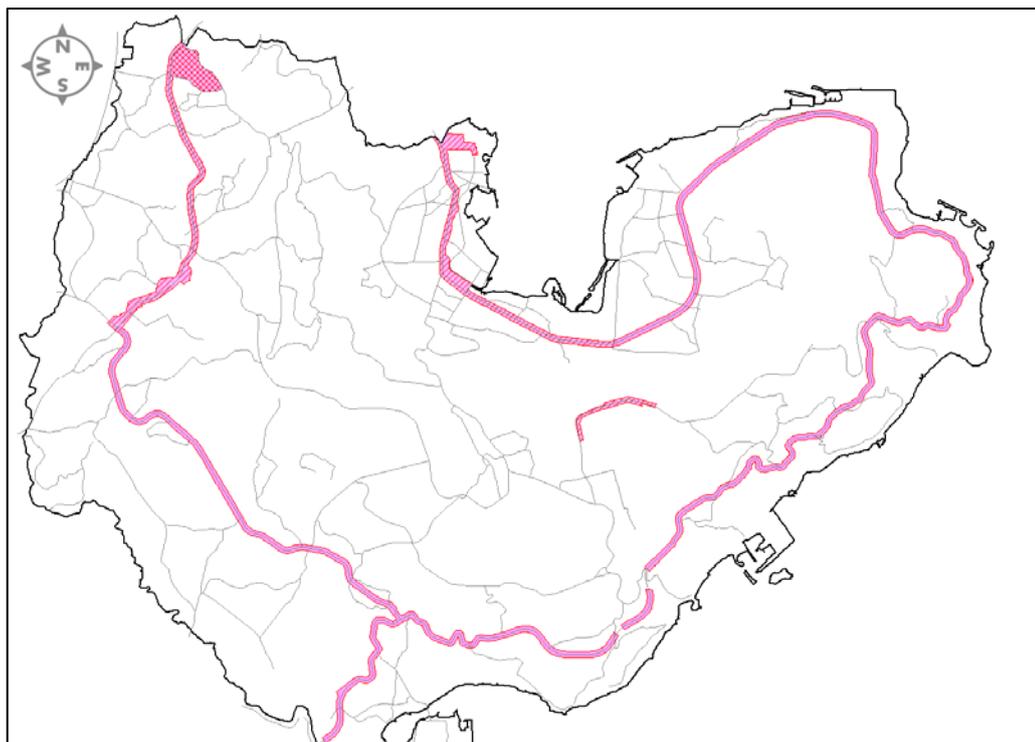
色彩・素材

形態意匠

屋外広告物

物品堆積

地区区分		対応する都市計画法上の土地利用規制 等
	市街地沿道地区	用途地域（近隣商業地域、第2種住居地域）、特定用途制限地域（幹線道路沿道地区市街地型）
	農村沿道地区	特定用途制限地域（幹線道路沿道地区農村型）
	工業地区	特定用途制限地域（産業環境地区）



**●沿道型の商業施設や、業務施設、住宅など、
様々な用途の利用がみられます**

国道 331 号や県道 77 号線の沿道では、その利便性から、特に、那覇市寄りの場所を中心として、商業施設や業務施設が多く立地しています。また、それらの施設の合間や背後には住宅が隣接している状況がみられます。幹線道路の沿道では、建物用途が混在しがちであり、環境対策としても、街並みのまとまりとしても、相互に十分な配慮が求められます。



県道 77 号線沿道に立地する規模の大きな商業施設

●広告物などが景観のなかで目立つ存在になってきています

幹線道路の沿道では、車からの見え方を重視した独特なデザインの建築物や、大きな看板、乱雑なのぼり旗が一部でみられます。これらの演出要素は、街並みにまとまりや落ち着いた無印印象を与えがちであるため、秩序を持たせることが必要ですし、派手な色彩や大きさ等に頼らない工夫が求められます。



自然景観のなかで
目立つ看板
(国道 331 号)

多くの屋外広告物がみられる街なか (国道 331 号)

●道路に面する斜面緑地や農地などが潤いのある沿道景観を創出しています

国道 331 号等の沿道については、そのすべての区間で市街化が進んでいるわけではなく、至るところで、沿道に斜面緑地や農地が残っています。このような緑は、騒音等の緩衝に役立つだけでなく、目を和ませ、また、海沿いにはあっては、海への眺望と相まって、本市の観光のイメージを高めているため、保全・調和を考えていく必要があります。



すぐそこまで丘陵地の緑が迫り、片側では、海への視界が開けている国道 331 号沿道

●無機質で殺風景な景観がみられます

工場・倉庫の大きな壁面や、金属構造が剥き出しの工作物、工業製品の堆積等は、無機質で殺風景な景観をつくりがちです。工業地では、働く環境として好ましい景観を考える必要がありますし、幹線道路に近接する場合は、通りからの見え方への配慮も必要です。これらに対しては、緑化による修景が有効ですし、親しみやすい建築デザインへの工夫等も求められます。



コンクリートプラントや、工業製品の堆積の様子を見ることができる敷地周辺の道路

■観光・リゾート系地域

【重点を置くべき誘導項目】

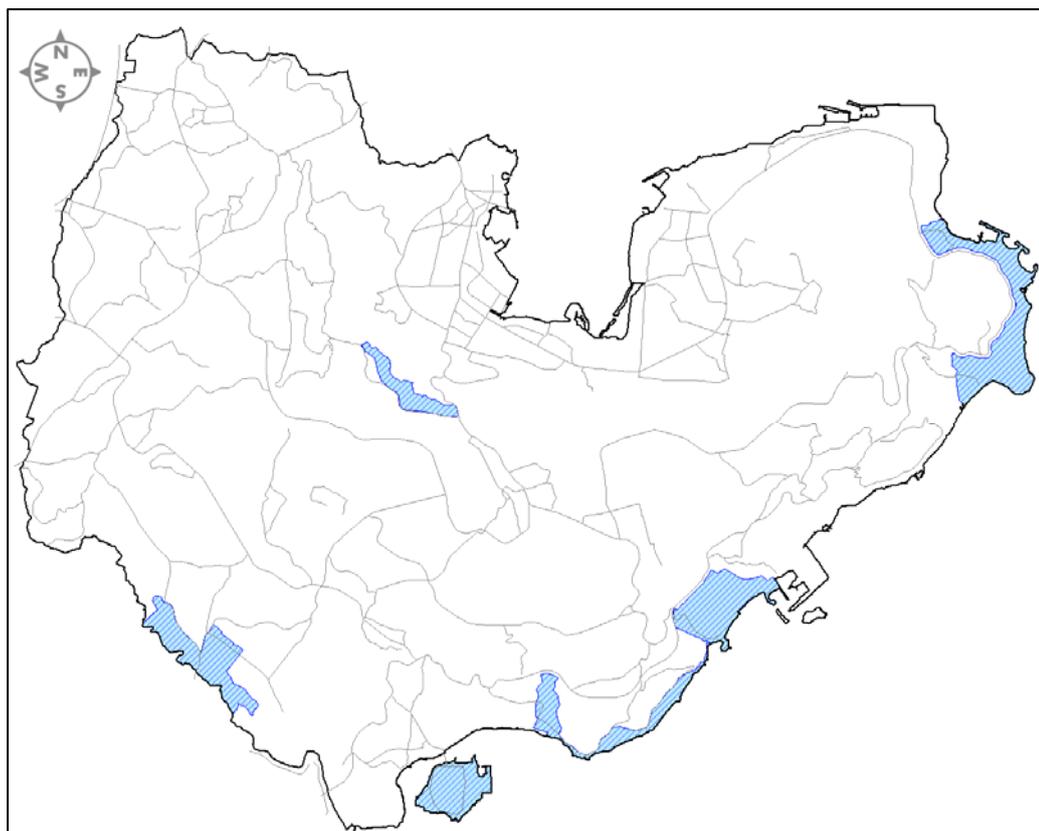
規模・高さ

色彩・素材

形態意匠

地形変更

地区区分	対応する都市計画法上の土地利用規制 等
—	特定用途制限地域（リゾート環境地区）、奥武島



●自然のなかで、観光関連施設が立地しています

高台や岬など、自然豊かで眺望の良い場所では、ホテル等の観光関連施設がみられます。本市にとって、観光集積は望ましいことですが、快適な観光リゾート環境として、美しい自然景観との調和も考えることが重要です。特に、ホテルは、大規模で自然景観のなかで突出しがちであるため、十分な配慮が求められます。



中城湾・太平洋を一望できる高台にある
ユインチホテル南城

●沖縄らしさを演出した建築デザインがみられます

装飾として赤瓦を配したリゾートホテルや、木造赤瓦の街並みを再現したテーマパークなど、沖縄の伝統的要素を取り込んだ観光関連施設がみられます。質の高い観光リゾート環境を実現するためには、建築物の形態意匠の工夫も重要であり、沖縄らしさを感じさせるような演出は有効です。



赤瓦の古民家が建ち並ぶおきなわワールド

●観光リゾートと地域の暮らしの空間が近接しています

海沿いでは、ビーチと集落が近接している場所があり、観光客は、海と地域の暮らしの景観をあわせて見ることができます。こうした地域では、相互の共存が課題であり、観光関連施設は、集落の落ち着いた雰囲気壊さないような配慮が必要です。また、観光リゾートの魅力を高める意味では、集落において、地域の伝統文化を感じさせるような演出を行うことも有効です。



新原ビーチに隣接し、海に通じる路地が印象的な集落

■自然・農業系地域

【重点を置くべき誘導項目】

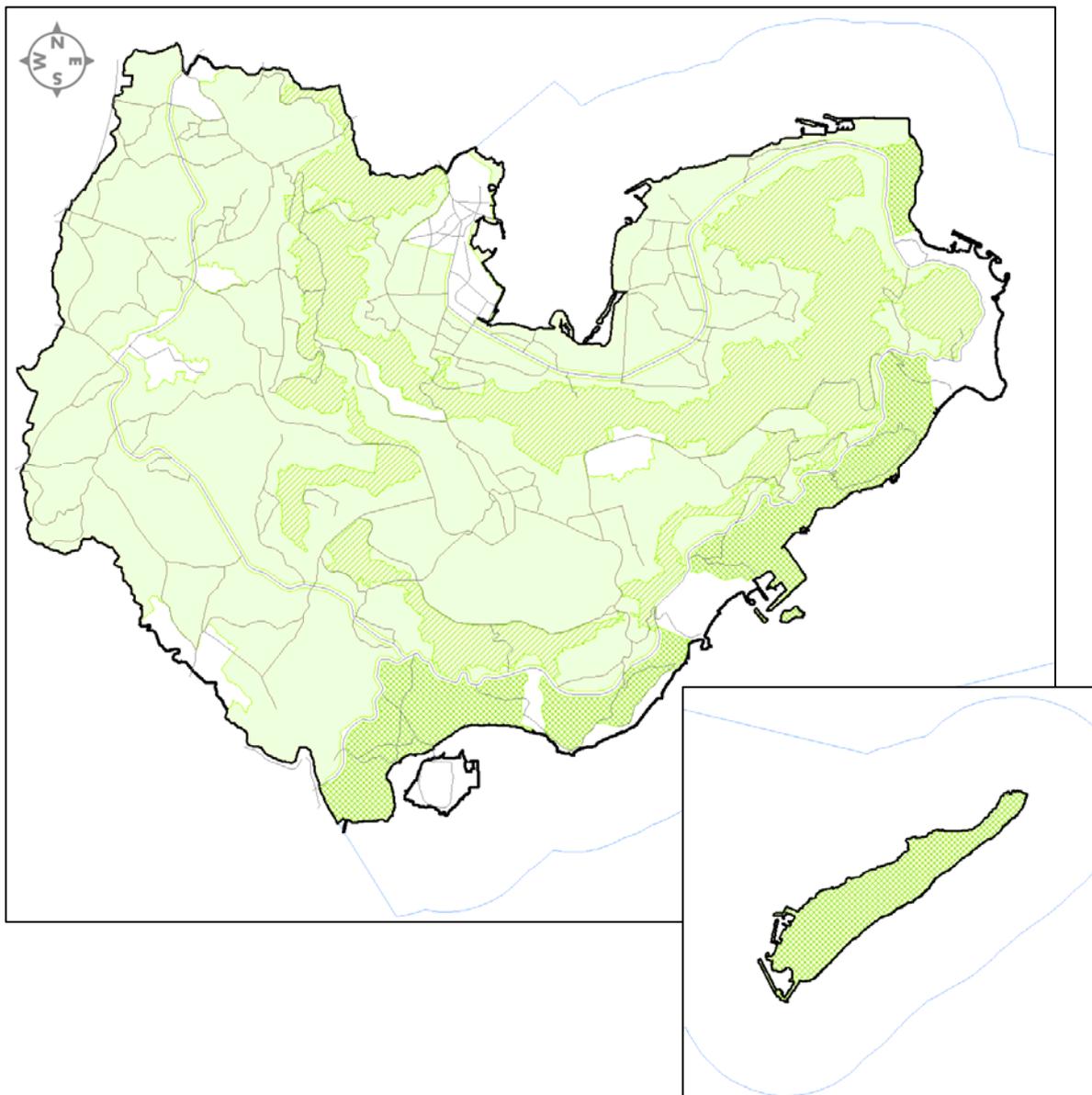
規模・高さ

緑化

地形変更

物品堆積

地区区分	対応する都市計画法上の土地利用規制 等
 海岸周辺地区	特定用途制限地域（居住環境保全地区。ただし、国道 331 号と海岸線に挟まれた範囲内とし、知名城原（小字）を北端とする）、久高島その他離島
 ハンタ緑地地区	風致地区（第 1 種地区・第 4 種指定地区。ただし、「海岸周辺地区」と「観光・リゾート系地域」の範囲は除く）
 農地・集落地区	特定用途制限地域（居住環境保全地区。ただし、「海岸周辺地区」と「ハンタ緑地地区」の範囲を除く）
 海洋地区	景観計画区域の海洋部



●まとまり・広がりのある農地や斜面林、これらと調和した集落がみられます

平坦地形の地域では、農地が広がり、その周囲では、地形の起伏にあわせて斜面林が広がっています。また、広大な農地のなかでまとまりを持って点在する集落や、丘陵地の緑を背負うように形成されている集落が各地で見られます。このような一定の秩序を持った美しい農村景観は、本市の大きな魅力といえ、地形・自然条件に根ざした景観という意味でも、積極的に保全していく必要があります。



広大なサトウキビ畑のなかで点在する集落（富祖崎地区）



海に向けた斜面地に形成されている集落（山里地区）

●集落のなかに、歴史・文化的資源が数多くみられます

歴史・文化的資源が数多く分布する集落を各地でみるすることができます。なかには、クサティムイやスージグァーを骨格とし、石垣や屋敷林を備えるなど、伝統的な形態を色濃く継承している集落もあります。これらは、景観としても大きな魅力であり、伝統文化が生きる空間として、その雰囲気積極的に保全していく必要があります。



石畳道が残る集落（富里地区）

●大規模な建築物の立地や、眺望の良い場所での建築物の立地がみられます

地域の建築物は、ほとんどが2階建て以下ですが、近年は、中高層マンションの立地がみられ、なかには、高台や海沿いなど、眺望の良い場所というものもあります。これらは、開けた農村景観や、周辺の住環境を守る上で課題ですし、眺望が阻害される（緑の稜線が分断される、眺望が独占される等）という意味でも大きな課題であるため、十分な配慮が求められます。



農村景観のなかで突出するマンション（船越地区）

●海沿いでは、美しい自然景観や、海と関わる暮らしの景観がみられます

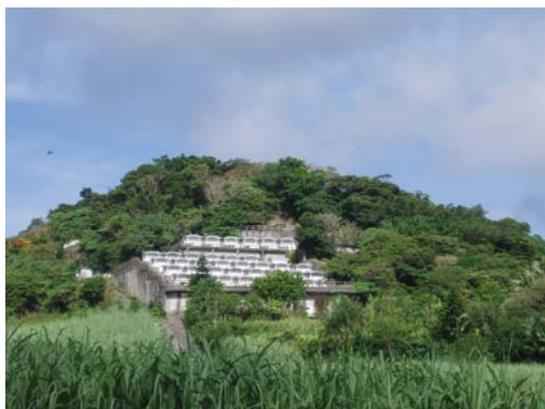
海沿いでは、イノーや変化のある海岸線等による美しい自然景観が広がっています。また、漁港や養殖場等の海の自然を活かした生業の環境や、その生業に関わる集落を各地でみるすることができます。こうしたなかで、海沿いの豊かな自然や、伝統の薫る漁村の雰囲気大切にしていけることが必要です。また、海との関わりを大切に、海を眺め、親しめるよう配慮することも求められます。



ビーチに隣接し、釣り場としても親しまれている志喜屋漁港

●景観のなかで目立つ様々な土地利用がみられるようになっていきます

地域では、耕作放棄地や、資材置き場、ごみの不法投棄がみられるようになっていきます。また、沖縄特有の問題として、住宅のすぐそばでの墓地の立地や、丘陵地での大規模な墓地開発がみられます。これらは、人目につく場所で行われている場合もあり、良好な自然景観を守る上で課題ですし、地域の住環境を守る上でも周囲への配慮が求められます。



丘陵地斜面に立地する墓地

(3) 重点地区（候補地）の景観の特性と課題

重点地区の景観の特性と課題は、前述した 10 の地区それぞれで捉えます。

重点地区では、一般地区としての共通課題や、各地区の実状に応じ、関係地権者等とも協議して、景観まちづくり方針等を検討することが必要です。

① 斎場御嶽一帯

【該当する一般地区】

沿道・業務系

観光・リゾート系

自然・農業系

世界遺産としての斎場御嶽を中心としながら、その尊厳性を守る空間としての丘陵地の緑や、そのお膝元としての久手堅集落等を含んだ地区です。

この地区では、琉球王国最高の聖地としての風致を維持しながら、近年の参拝者・観光客の増加を考慮した景観まちづくりを行うことが重要です。



② 知念グスク・知念集落一帯

【該当する一般地区】

沿道・業務系

自然・農業系

丘陵地形を利用して築かれた知念グスクや、グスクとともに形成された知念集落を中心とした地区であり、穀物起源、アマミキヨ等も伝承されています。

この地区では、沖縄を代表するその歴史的環境を大切にしながら、国道 331 号沿いの周遊を促す拠点としての景観まちづくりを行うことが重要です。



③ ミントングスク・仲村渠集落一帯

【該当する一般地区】

自然・農業系

仲村渠樋川が位置するなど、水の豊かさが大きな特徴で、樋川と関連の深い仲村渠集落や、アマミキヨの安住の地とされるミントングスク等を含む地区です。

この地区では、水への信仰を今に伝える空間や、グスクロードを構成する歴史的環境等を大切に景観まちづくりを行うことが重要です。



④久高島

【該当する一般地区】

自然・農業系

琉球民俗発祥の地として知られる久高島では、クボ一御嶽をはじめとした聖域が亜熱帯の豊かな緑とともに存在し、古い集落や、土地総有制度による地割跡等もあって島全体が独特の雰囲気にも包まれています。

この地区では、全県的にも貴重なその地域性を維持しながら、癒しの空間として、島を訪れる観光客の増加を考慮した景観まちづくりを行うことが重要です。



⑤藪薩の浦原・新原集落一帯

【該当する一般地区】

観光・リゾート系

自然・農業系

百名海岸の後背地（藪薩の浦原）に位置し、アマミキヨが上陸したヤハラツカサや浜川御嶽、稲作発祥の地としての受水・走水、新原集落等を含んだ地区です。

この地区では、沖縄を代表するその歴史的環境を大切にしながら、周辺ビーチ利用者による散策も考慮した景観まちづくりを行うことが重要です。



⑥奥武島

【該当する一般地区】

観光・リゾート系

古くから漁業を生業とし、観音堂やハーリー、トビイチャーを干す風景など、海に関わる人々の暮らしや文化がみられる地区です。

この地区では、伝統的な海人の島としての地域性を維持しながら、島内散策など、多様な観光を促す景観まちづくりを行うことが重要です。



⑦糸数グスク・糸数集落一帯

【該当する一般地区】

自然・農業系

丘陵地形を利用して築かれ、大型の城壁と開けた眺望が特徴的な糸数グスクや、その麓の糸数集落、これらを取り囲む緑を中心とした地区です。

この地区では、グスクロードを構成する歴史的環境や、グスクと集落の歴史・文化的な結びつき等を大切に景観まちづくりを行うことが重要です。



⑧小谷集落一帯

【該当する一般地区】

自然・農業系

緑豊かな急斜面に立地する小谷集落を中心とした地区で、戦前、石畳道が多かったことや、上の井に代表されるように水の豊かさで知られています。

この地区では、水への信仰や、道の歴史等を感じさせる、昔ながらの風情ある環境を大切にしたい景観まちづくりを行うことが重要です。



⑨島添大里グスク・西原集落一帯

【該当する一般地区】

自然・農業系

急峻な崖地形を利用して築かれた県内有数規模を誇る島添大里グスクや、その周辺に位置する西原集落、南風原集落等を中心とした地区です。

この地区では、三山統一のきっかけにもなった重要な歴史的環境や、グスクと集落の歴史・文化的な結びつき等を大切にしたい景観まちづくりを行うことが重要です。



⑩佐敷上グスク・佐敷集落一帯

【該当する一般地区】

沿道・業務系

自然・農業系

三山統一を果たした尚巴志の生誕の地とされる佐敷上グスクや、その麓の佐敷集落を中心とした地区で、一帯には尚巴志に縁のある歴史・文化的資源が数多く分布しています。

この地区では、グスクを中心に、尚巴志を地域のシンボルとして捉えた景観まちづくりを行うことが重要です。

